

# 多重債務や貸金未払い…

## 「生活困窮」相談が急増

県労働者福祉協議会は、労働や生活の相談に応じている「愛媛くらしの相談センター」の2010年度利用状況をまとめた。多重債務など金融関係の相談が前年度比1.7倍に、生活困窮や生活保護に関する相談が同2.6倍に、それぞれ増加。同協議会は「雇用環境の厳しさと不況で、生活困窮世帯が広がっている」と分析している。(原典子)

前年度の462件を大きく上回った。相談の最多は、多重債務など「金融」の157件(前年度比63件増)。「生活資金・生活保護」が102件(同63件増)、残業や休日出勤の貸金未払

月に施行された影響で、生活資金のための借金が難しくなるケースもあった。このほか、パワーハラスメントや職場でのいじめなど仕事上の人間関係が絡む相談も目立ち、「心の病」を患っている相談者も多

いといい、同協議会は「問題解決と同時に、相談者の心のケアが課題」としている。

相談は平日の午前9時〜午後5時(水曜のみ午後7時まで)、松山市宮田町の県労働者福祉協議会「愛媛くらしの相談センター」(089・915・2400)で。面談は予約が必要。

同協議会は、県の委託を受けて09年度から同センターを運営。専属の相談員2人が電話や面談、電子メールで対応。裁判所や役所への同行、専門機関の紹介などで、債務整理や利息過払いの返還請求を手伝ったり、生活保護受給までのつなぎとして、国の生活資金融資制度を紹介したりする

### 県労福協 昨年度集計

ほか、就労支援も実施。相談者が生活再建の道筋を付けられるように総合的な支援を行っている。

10年度の相談者数は、前年度比78人増の448人。相談件数も延べ708件と

ほかに、解雇などの「労働」が70件(同8件減)だった。非正規雇用の労働者が職を得られずに困窮するケースのほか、借入総額を原則年収の3分の1以内に規制する改正貸金業法が昨年6

## 不況で雇用環境悪化

## 肝炎患者「愛媛の会」結成

### 医療費補助や補償 国に訴え

集団予防接種や輸血などでB型・C型肝炎に感染した県内の患者と家族が4日、「すべての肝炎患者の

松山市の県民文化会館別館で開かれた結成会には約10人が参加。全国センターの児玉義明・事務局長が

経緯や治療経過を説明。代表に選ばれた60歳代の女性患者は「治療に1千万円以上かかった。せめて医療費



山頂に彩り 大洲

ドツツジ。一帯はツツジの名所として知られ、帰省中に訪れた名古屋市の女性は、「癒やされますね」と見入っていた。5日まで大洲まちの駅「あさもや」発着の無料シャトルバスが運行される。問い合わせは市商工観光課(0893・24・2111)へ。

## 清流とそうめん堪能

八幡浜・平家谷



平家の落人伝説が残る八幡浜市保内町宮内の平家谷で、清流を利用したそうめん流しが始まり、入場者はせせらぎを聞きながら、涼しげにそうめんを口に運んでいる。

老人クラブ「福寿会」が標高230㍍の溪谷を利用して1967年に始めた。新緑に覆われた谷に設けられた、長さ約7㍍の樋4本

9月10日まで 日午前9時〜午後5時 福寿会では3㍍の入場者を見送料金は中学生以上、小学生2㍍、幼児1㍍ 合わせは平家谷 94・36・24

- 当采
- ◇愛南町▽岡(御荘平城)08
  - 511▽県立南聖08955・72
  - ◇宇和島市▽城院(堀端町)08
  - 022▽笹岡内科0895・24・33
  - じこどもクリニック0895・24・11
  - 島病院(津島町)2011